

福山市立柳津小学校 学校だより

# いほう



2025年(令和7年) 3月3日 第14号

〈福山市めざす子ども像〉

福山に愛着と誇りをもち、変化の激しい社会をたくましく生きる子ども

〈松永中学校区めざす子ども像〉

自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力を身につけた子ども



**失敗したとしても、人のせいにせず、失敗した理由を自分で考え、**

**成功に向けて、一步一步課題を克服していく力強さが必要**

**～「失敗ばかりしている」のではなく、「たくさんのチャレンジ」をしているのです～**

今年度も最後の月、3月を迎えました。子どもたちに、一年間を振り返る時間を持ってほしいと思います。学習はもちろんですが、学校生活の中でさまざまにかかわってきた多くのことについて、いろいろなまとめをしていきます。子どもたちにとっては、大変なことですが、きちんとまとめを行っていくことは新たな出発への大きな自信となることは確かなことです。一人一人がこの一年間を振り返り「何ができるようになったのか」「何ができなかったのか」をしっかりと意識しながら過ごしてほしいと思っています。

年度末を迎え子どもたちは進級や進学をします。自分自身をさらに成長させるためにも、新たな決意をもって夢や未来に向かってチャレンジしてほしいと願っています。そのためには、強い意志が必要です。心理学者のアドラーは、『やる気がなくなった』のではない。「やる気をなくす」という決断を自分でしただけだ。「変わらない」のではない。「変わらない」という決断を自分でしているだけだ。』と、言っています。夢や未来に向けて、自分で決断し実行することは、とても勇気がいることです。しかし、自分の行動に責任をもつことが大切です。そのためには仮に失敗したとしても、人のせいにせず、失敗した理由を自分で考え、成功に向けて、一步一步課題を克服していく力強さが必要です。さらに、アドラーは、『失敗ばかりしている』のではなく、「たくさんのチャレンジ」をしているのだ。』とも言っています。次のステップアップのためには、「失敗もチャレンジをしているのだ」と思えば気持ちも楽になります。1年の振り返りをしっかりして、来年度に自分の夢や未来に向けて、思い描いていることについて失敗を恐れず、たくさんのチャレンジをしてほしいと思います。

1年間を通して、『言葉の大切さ』についても、全校朝会で子どもたちに伝えてきました。代表委員会で考えて全校で取り組む月目標での取組も行ってきました。「相手の目を見てあいさつをしよう」「相手にやさしい言葉を使おう」「自分からあいさつをしよう」など具体的な目標として取り組んできました。

3月は、子どもたちに感謝の気持ちを言葉で伝えてほしいと思います。楽しい時間を共有できた友達に、支えていただいたご家族に、見守っていただいた地域の方や先生方に、1年間を振り返り、お世話になった人へ感謝の気持ちを伝えることで、自分自身の成長も再確認してほしいと願っています。人は人とかかわりの中で生きています。自分以外の人の思いを感じ取り、その思いを返せる人に育てたいと思います。

(文責 校長)

## 善行児童として顕彰されました

2月5日(水)に福山市役所で善行児童の顕彰式がありました。柳津小学校からは、本年度の柳津小学校児童会の前期会長、後期会長の二人が表彰状を受け取りました。二人はどちらも、児童会役員の中心になって、児童のみんなが楽しく学校生活を送れるようにと、月に1度のたてわり班での児童会行事を計画運営したり、代表委員会で各学年からの意見をまとめて月目標を決めて取り組んだりしてくれました。



## いじめ・体罰アンケートについて

先日実施した「いじめ・体罰アンケート」へのご協力、ありがとうございました。児童と保護者からのアンケート結果をふまえて、一人一人の児童と担任が個人面談を行いました。友達との関係で嫌な思いをしたこと、困っている友だちを見て心配していることなどを聞き取り、解決に向けて話し合いました。分かったことや取組については、関係する保護者にもお伝えしています。全てのクラスで面談が終わった後、教職員全体で研修の場を持ち、それぞれのクラス担任からの報告で、取組の共有化をしています。保護者の皆様には、今後も気になることは、いつでも相談いただきますようお願いいたします。担任でなくてもかまいません。何かあったら、どの先生もしっかり寄り添っていかうと思っておりますので、相談するようにお子様にもお伝えください。また、柳津小では年度初めに「いじめ防止基本方針」を策定し、ホームページにも掲載していますので、ご確認ください。

## 新入生体験入学

2月3日(月)に、新入生体験入学を行いました。4月に柳津小学校に入学してくる19人の子どもたちが、保護者がランチルームで説明会に参加している間、お世話係の5年生に絵本を読んでもらったり、学校探検をしたりしました。5年生は4月から6年生として、たてわり班はもちろん、様々な場面でサポートしていくことになる新入生との出会いです。いつも以上に張り切って、新入生を笑顔にすることができました。新入生の小学校に入学することへの不安を少し取り除くことができたのではないかと思います。5年生も新入生の笑顔で達成感を感じることができたようでした。



開校150周年記念キャッチフレーズ

「みんながつながる やないづの輪」

